

団体名：ばあばら

活動地域：杉並区

助成額：99,974 円、助成回数：5 回

【当初の目的に対しての結果】

まずは本物の味を知ってもらおう、育ち盛りの子どもたちに、お肉をたっぷり食べてもらおうと助成を申込ました。毎回、品物のチョイスと車輛の手配には苦労しましたが、他の助成金で冷凍庫を購入できたため、お肉をたくさん受取ることができ毎回好評でした。食品の他、キッチンペーパー等も得られるので助かっています。「豚もやし味噌」は便利でした。クリスマス品ではちょっと贅沢に大いに盛り上がりました。たっぷりの根菜類と山形名物味付玉こん、めぐみ豚をつかった豚汁はあっという間に寸胴鍋が空になります。「日本のかぼちゃスープ」は私の手作りよりも美味しいと言われ、へこみました(笑)。食物本来の味、旬に味わうこと、は、伝えられましたが、今後は、もう少し「食育」を深めていきたいと考えています。

【主催者の感想】

さんぼんすぎの切り抜きで生産者の見える食材であることも伝え、「作ってくれた人」を身近に感じることもできました。クリスマス商品の早割で、ローストビーフとスモークサーモンを初めて食べた子どももいて、大喜びでした。お正月には生麩のお吸い物等、季節を感じる献立を企画することもスムーズにできました。普段は夕食付勉強会ですが、夏休み等長期休業期間はランチ付きや遠足を楽しんでいますが、今年度はコロナの影響で遠足は実施できませんでした。コロナが収まったら、産地訪問に連れていきたいと考えています。助成のおかげで食卓が豊になり、安心安全な「旬のもの」を提供できることに感謝しています。昔ながらの味なので、苦手な子どもにはより食べにくくなってしまうますが、これが本来の「味」なのだと伝えることもできています。椎茸が好きな子どもたちは大喜びでした。全員が喜んだのは里芋とジャガイモです。ほっこりとして甘みがあり、競争して食べていました。ビーフシチューフレークは大変便利です。食にこだわりのないご家庭では出会えない食材に出会った時の子どもたちの反応にドキドキワクワクしながら、選びました。今年度は、子どもたちと一緒にさんぼんすぎを広げて選んでみたいと思います。

【支援を受けられた方の声】

「美味しいお肉をいっぱい食べられて嬉しかった」「みかん（せとか）がとても甘くてびっくりした」「八千代牛乳でタピオカドリンクを作って飲んだよ」と、子どもたちの笑顔がたくさん咲きました。受験生のご家庭にはパントリーで冷凍肉をお渡しし「忙しい時にも手早く栄養のあるおかずができありがたかったです。」と喜びの声をいただきました。

【その他、意見・要望など】

商品部等から肉や魚について食育の講演に来てもらえると嬉しいです。調味料等、毎週掲載ではないもの、また、早割を積極的に使いたいため、年度の初めに企画の一覧がほしいです。丸大豆しょうゆ、東都みそ、加塩バター、東都マヨネーズ、産直トマトケチャップは最も子どもたちに提供したい品です。企画回がわからないと不便です。ペットボトル入りの丸大豆しょうゆは、毎回会場に調味料一式を持参しなくてはならない都合上、大変便利で助かっています。一方、油は、一回の揚げ物に適量な企画があると嬉しいです。口が広ければ使い終わった油を入れてこぼす心配なく持ち帰ることもできます。ミールキットは割高ではありますが、どうしても調理時間を節約したい時には便利です。但し、賞味期限が短いので火曜日実施の当会には不向きでした。一番使いたい野菜と卵はどうしても市販品に比べて高価なので迷うところですが、だからこそ、助成制度を活用して使っていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。